

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-325192  
(P2000-325192A)

(43) 公開日 平成12年11月28日 (2000. 11. 28)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
A 4 7 F 5/12		A 4 7 F 5/12	3 B 1 1 8
A 4 7 B 97/04		A 4 7 B 97/04	Z
A 4 7 F 7/00		A 4 7 F 7/00	V

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

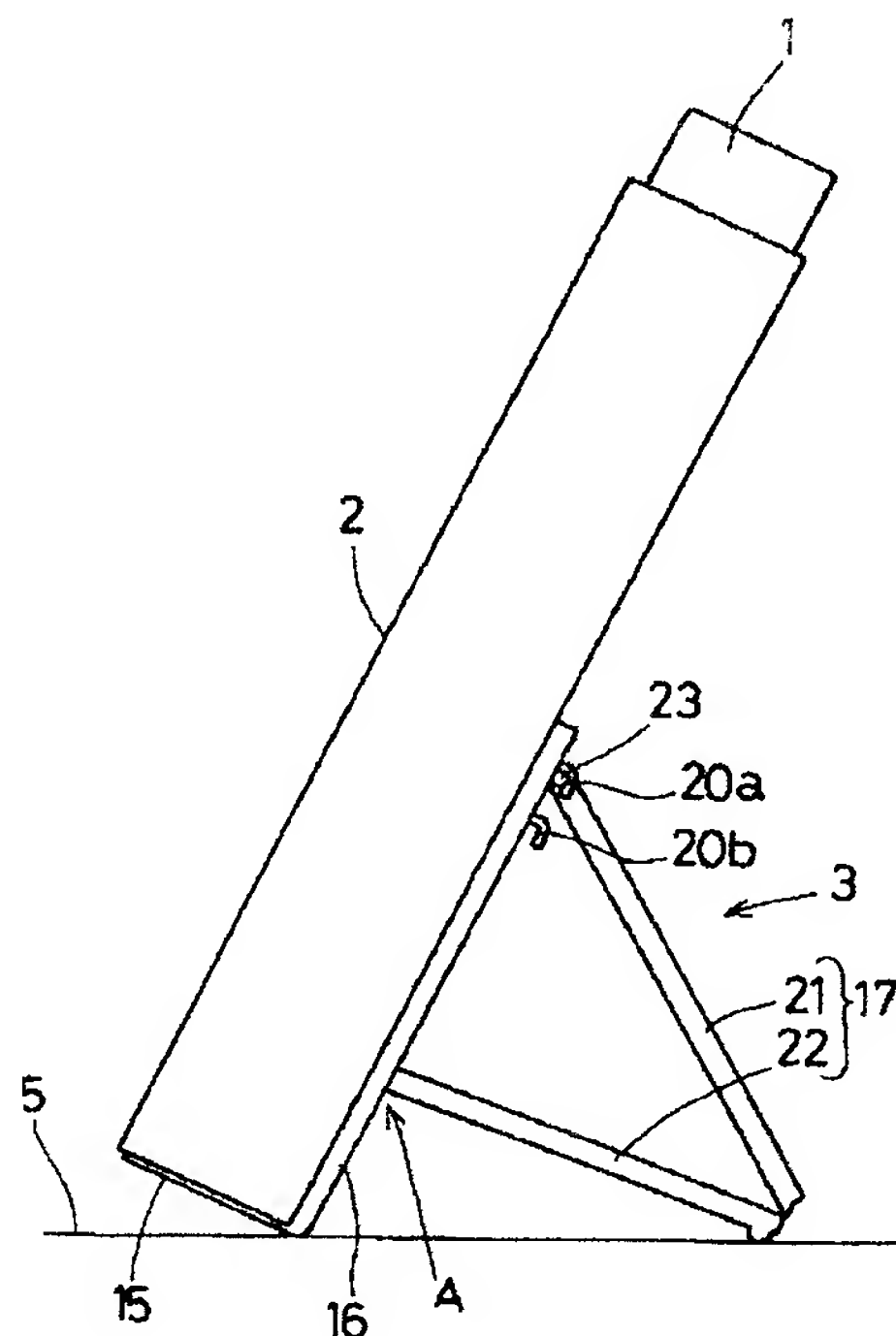
(21) 出願番号	特願平11-137256	(71) 出願人	392025238 株式会社サンエイ 大阪府東大阪市今米1丁目19番28号
(22) 出願日	平成11年5月18日 (1999. 5. 18)	(72) 発明者	中筋 保 大阪府東大阪市今米1丁目19番28号 株式 会社サンエイ内
		(74) 代理人	100072213 弁理士 辻本 一義 Fターム(参考) 3B118 DA15

(54) 【発明の名称】 陳列物支持具

【発明の要約】

【目的】 傾斜した棚を配した陳列装置がなくとも、陳列物を傾斜した状態で陳列することができ、しかも、陳列物の傾斜する角度を変更することが可能な陳列物支持具を提供すること。

【構成】 この発明の陳列物支持具は、陳列物2を傾斜した状態で支持するようにした陳列物支持具であって、設置面5に接すると共に陳列物2の底部が載る載置部15と、陳列物2の背面に接する背部16と、背部16の後方で設置面5に接する後方支持部17からなり、背部16と後方支持部17との接続部分Aの角度を可変として、陳列物2の傾斜する角度を変更できるようにしている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 陳列物(2)を傾斜した状態で支持するようにした陳列物支持具であって、設置面(5)に接すると共に陳列物(2)の底部が載る載置部(15)と、陳列物(2)の背面に接する背部(16)と、背部(16)の後方で設置面(5)に接する後方支持部(17)からなり、背部(16)と後方支持部(17)との接続部分(A)の角度を可変として、陳列物(2)の傾斜する角度を変更できるようにしたことを特徴とする陳列物支持具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、レンタルビデオショップ等におけるソフトや、その他各種店舗において陳列される商品(この明細書において陳列物と言う)を支持するための陳列物支持具に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】レンタルビデオショップや各種の商品を取り扱う店舗では、陳列物を客が見やすいように傾斜した状態で陳列することが望ましいが、そのためには傾斜した棚を配した陳列装置をわざわざ設置する必要があり、また、陳列物の傾斜する角度を変更することは容易ではなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】そこで、この発明は、傾斜した棚を配した陳列装置がなくとも、陳列物を傾斜した状態で陳列することができ、しかも、陳列物の傾斜する角度を変更することが可能な陳列物支持具を提供することを課題とする。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、この発明は次のような技術的手段を講じている。

【0005】この発明の陳列物支持具は、陳列物2を傾斜した状態で支持するようにした陳列物支持具であって、設置面5に接すると共に陳列物2の底部が載る載置部15と、陳列物2の背面に接する背部16と、背部16の後方で設置面5に接する後方支持部17からなり、背部16と後方支持部17との接続部分Aの角度を可変として、陳列物2の傾斜する角度を変更できるようにしている。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施形態を図面を参照して説明する。

【0007】この陳列物支持具は、陳列物2を傾斜した状態で支持するようにした陳列物支持具であって、設置面5に接すると共に陳列物2の底部が載る載置部15と、陳列物2の背面に接する背部16と、背部16の後方で設置面5に接する後方支持部17からなり、背部16と後方支持部17との接続部分Aの角度を可変として、陳列物2の傾斜する角度を変更できるようにしたも

のである。

【0008】図1、図2はこの発明の実施形態の陳列物支持具3で陳列物2を支持した状態を示す図、図3は、陳列物2を展開した状態を示す図、図4、図5は、この陳列物支持具3を前方、後方から見た図である。

【0009】この実施形態では、陳列物2は、ビデオテープ等のソフト1を収納するソフト収納ケースとしている。陳列物2は、図3のように展開可能としていると共に、その底部の壁12の左右両端部を屈曲した形状とすることにより、支持部材3を取り付けるための係合手段としての溝13を設けている。壁12の溝13の開口部付近には、突起14が形成されている。

【0010】この陳列物支持具3は、合成樹脂製としている。載置部15は、陳列物2との係合手段として、その左右両端に前記陳列物2の溝13に差し込まれる突片18を設けている。突片18の先端には前記溝13の突起14に引っ掛かるようにした突起19が形成されており、突片18が前記溝13からはずれにくいようになっている。なお、突片18の形状や有無は適宜とすることができ、突片18の角度を可変にする構成等としてもよい。

【0011】背部16は、載置部15の後端に直角に立設された略U字状のもので、左右各部の裏側には、それぞれ上下2段に被係合具20a、20b、20c、20dを形成している。被係合具20a、20b、20c、20dの形状や段数は図示したものに限定されない。

【0012】後方支持部17は、折り曲げ可能に連結された上片21と下片22からなり、さらにこの下片22は背部16の左右各部の間に折り曲げ可能に連結されている。上片21の先端には、前記被係合具20a、20b、20c、20dに係合する棒状の部材23が設けられている。また、上片21と下片22との接続部分付近で設置面5に接するようになっている。後方支持部17は、背部16と分離可能に構成してもよい。

【0013】後方支持部17は、その下片22を背部16との接続部分Aで後方に曲げ、さらに上片21を下片22との接続部分で前方上方に曲げ、係合具23を被係合具20a、20b、20c、20dに係合させる。

【0014】この支持部材3は、上段又は下段のいずれかの被係合具20a、20b、20c、20dを選択して係合具23に係合させることにより、背部16と後方支持部17との接続部分Aの角度を変えられるので、図1、図2のように、ソフト2の傾斜する角度を2段階に調節することが可能である。

## 【0015】

【発明の効果】この発明の陳列物支持具は、上述のような構成を有しており、傾斜した棚を配した陳列装置がなくとも、陳列物2を傾斜した状態で陳列することができ、しかも、陳列物2の傾斜する角度を変更することが可能である。

3

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施形態の陳列物支持具で陳列物を支持した状態の側面図。

【図2】この発明の実施形態の陳列物支持具で陳列物を支持した状態の側面図。

【図3】この発明の実施形態の陳列物支持具に支持される陳列物を展開した状態の斜視図。

【図4】この発明の実施形態の陳列物支持具の前方からの斜視図。

4

【図5】この発明の実施形態の陳列物支持具の後方からの斜視図。

【符号の説明】

2 陳列物

5 設置面

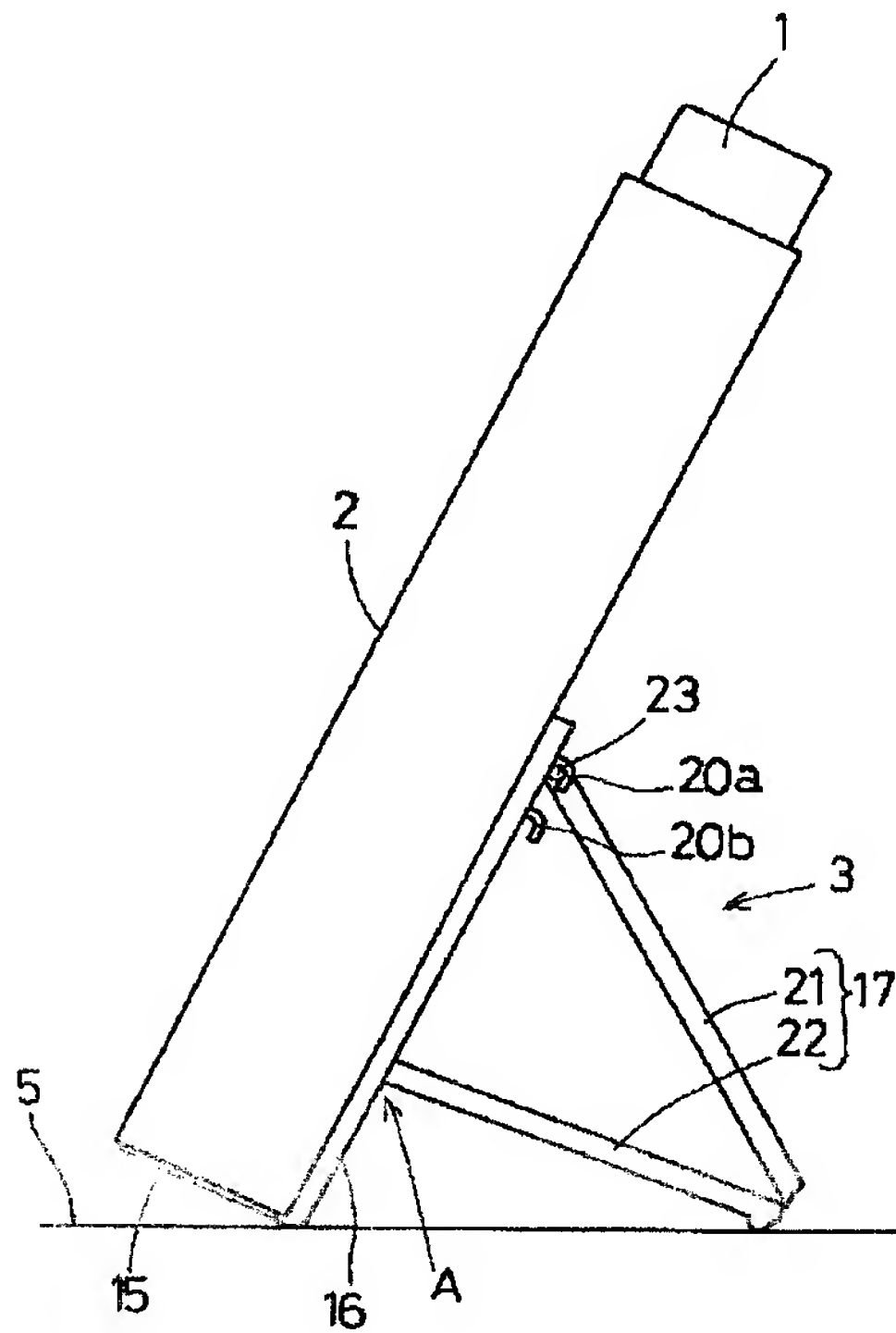
15 載置部

16 背部

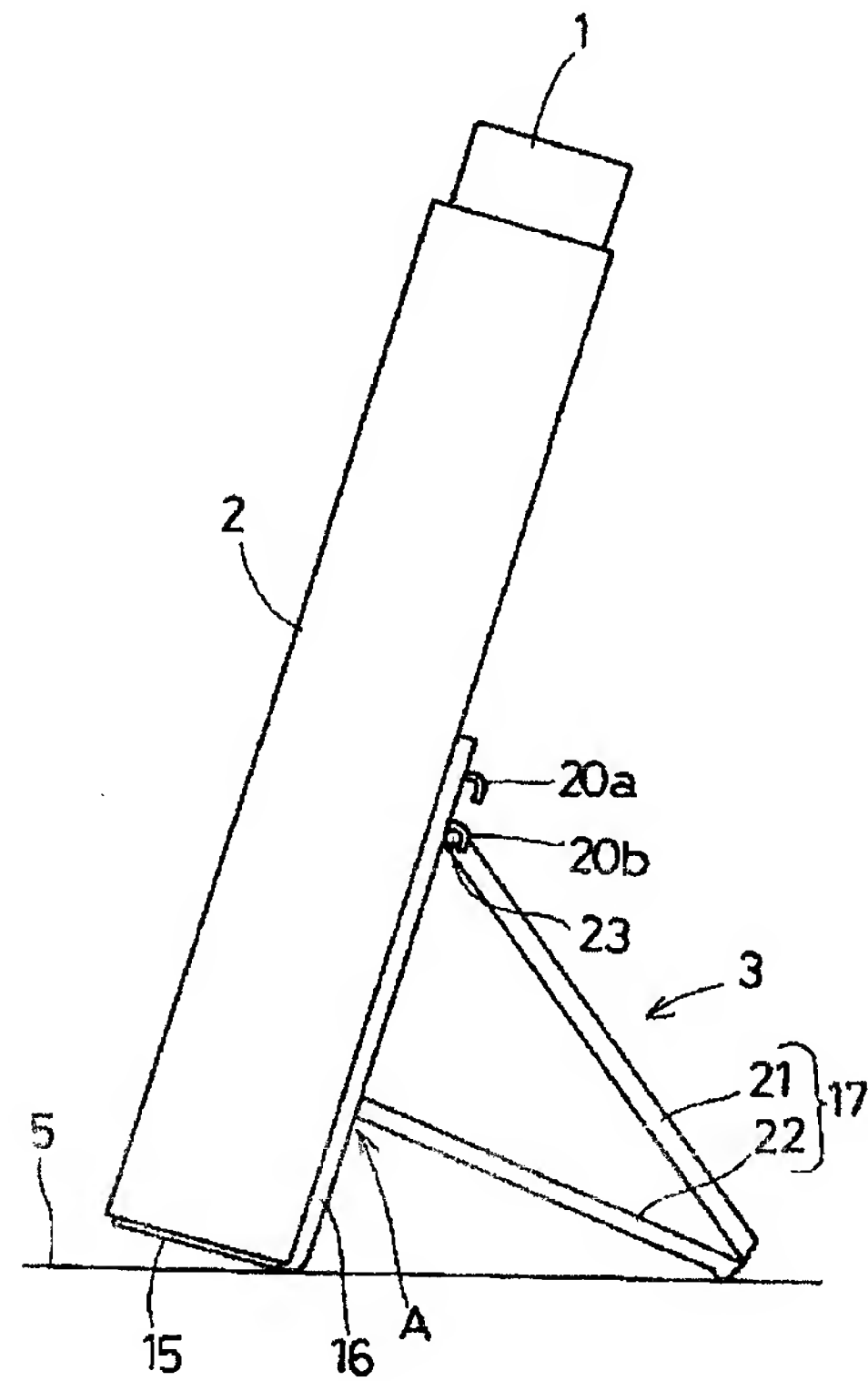
17 後方支持部

A 背部と後方支持部との接続部分

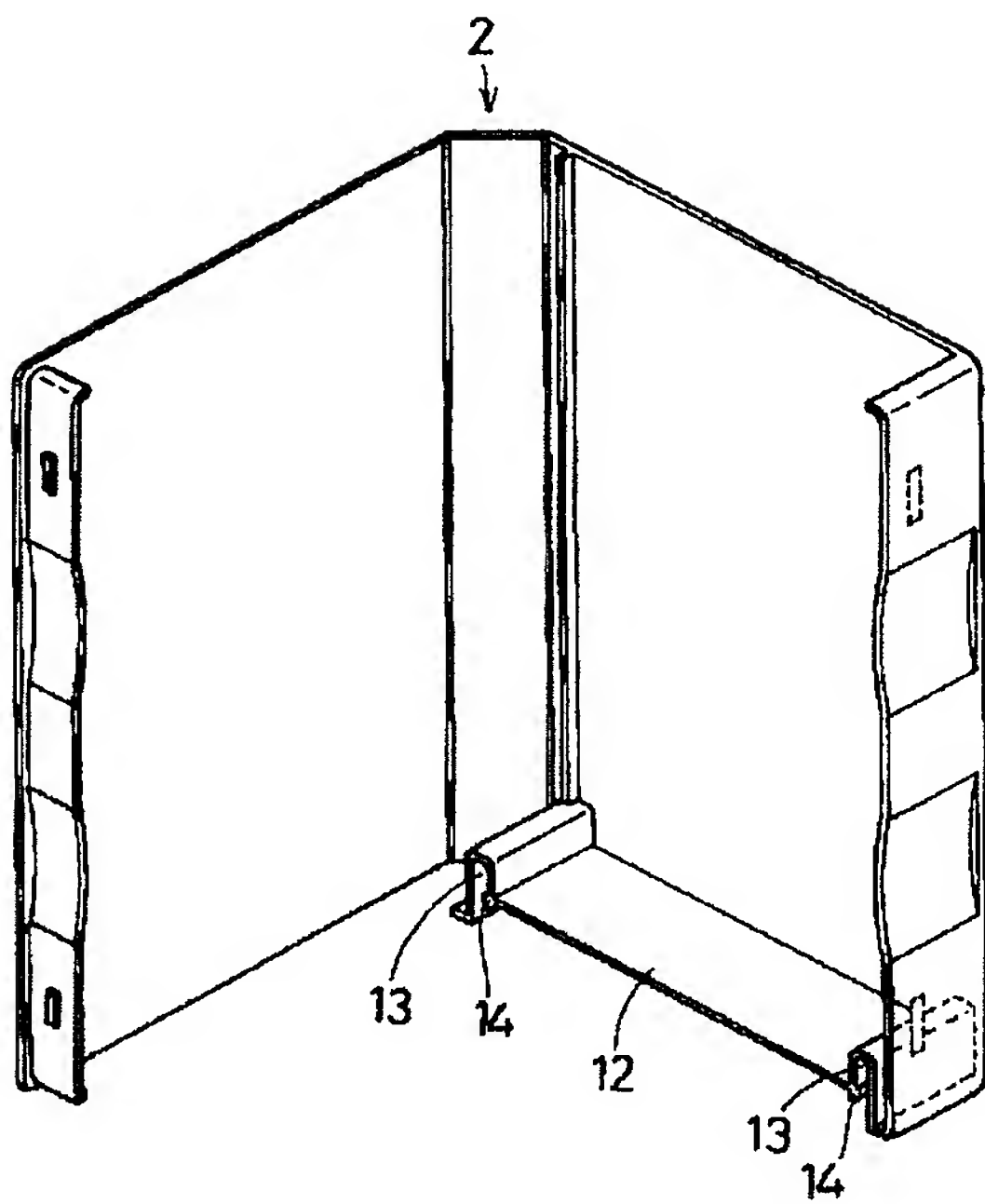
【図1】



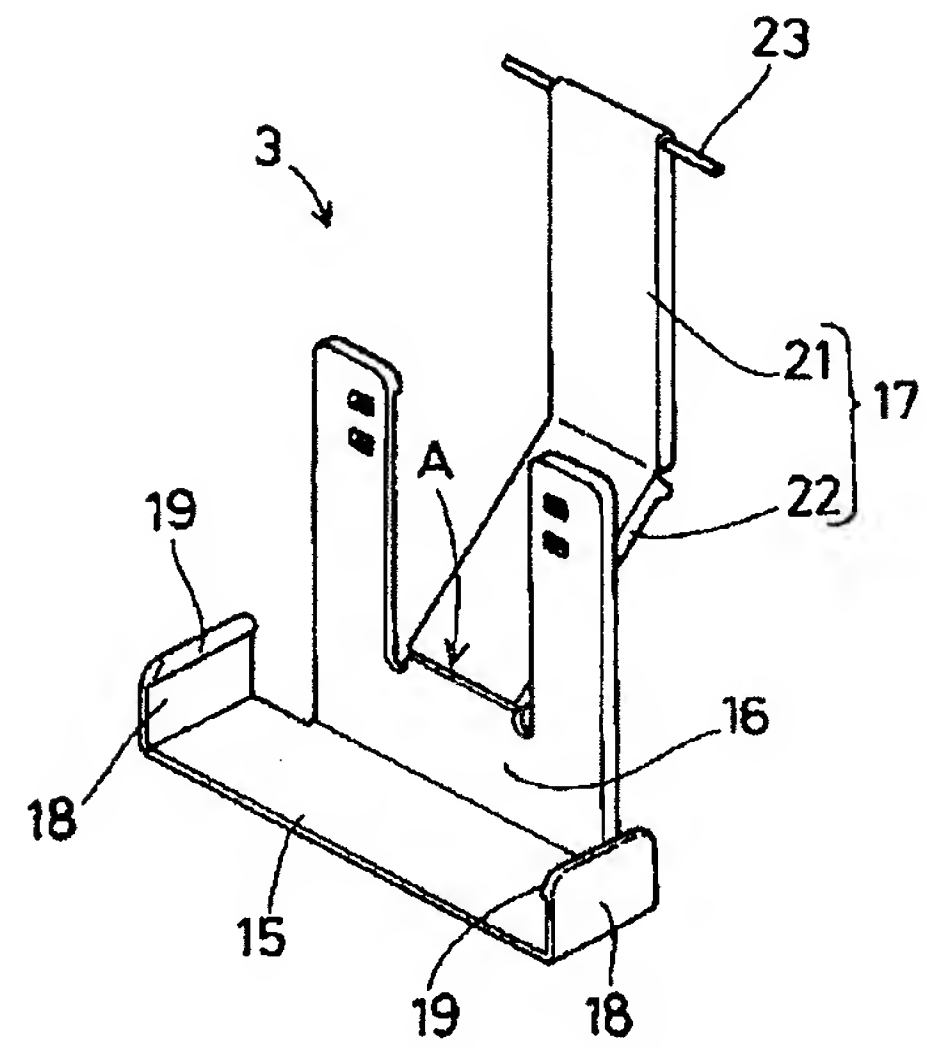
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

